



ウグシクだより
ウグシク(御城)とは、首里城のことです。
元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方を使います。



企画展

うるしの王国 琉球 I ～神に捧げたうるしのうつわ～

2010年7月9日(金)～10月2日(土)

琉球王国時代に儀式・儀礼に使われた「うるしのうつわ」を紹介
します。また、その漆器の使われ方を紹介するため、一緒に使用さ
れていた祭祀道具もあわせて展示します。

首里城公園友の会 募集中!



首里城公園友の会は、首里城公園の質的充実と愛護、育成の諸事業を
実施し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的に設立されました。会の
趣旨に賛同する会員を募集しています。大人気の史跡めぐりバスツアーや
首里城見学会などの事業や会員特典もあります。

主な事業

文化講演会／史跡巡見(本島内・離島・県外・海外)／首里城見学会首
里城周辺めぐり等の開催／親子体験教室の開催／イヌマキ育樹祭／
芸能等鑑賞会(国立劇場おきなわでの鑑賞会)／首里城公園友の会会
報の発行

会員の特典	個人会員	法人会員
首里城公園への優待入場	無料入館券2枚	無料入館券10枚
会員証提示で入館料2割引	ご本人様のみ	5名様迄

<共通>友の会主催の講演会・見学会・史跡巡見等への会員価格での参加

入会方法

◆申込用紙に必要事項を記入し、会費を添えて最寄りの銀行(沖縄海
邦銀行・沖縄銀行・琉球銀行)、郵便局または事務局へお申し込みく
ださい。(手数料はかかりません)

◆年会費(4月～3月)◎個人会員 2,000円 ◎法人会員10,000円
※便利な口座振替(沖縄・琉球・郵便局)をお勧めします。

首里城公園友の会事務局

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-2
首里城公園管理センター内
TEL 098-886-2020 FAX 098-886-2919

その他の催し物

展示品解説会

うるしの王国 琉球
～神に捧げたうるしのうつわ～

内 容 首里城公園企画展に展示中の美術工芸資
料を中心とした展示品の解説を行います。

期 日 8月1日(日) <一般>10:30～12:00、<友の会会員>13:30～15:00

参加費 要入館料(優待券・年間パスポート利用可能)

講 師 上江洲安亨(首里城公園調査展示係長)



イヌマキ(チャーギ)

育樹祭(国頭村辺野喜ダム附近)

内 容 将来の首里城の修復を予想して、平成5年
3月に植樹したチャーギの手入れをします。自
然にふれあいながら参加してみませんか。

期 日 8月14日(土) <貸切バス利用者>8:30出発、17:30帰着予定

※自家用車利用の方は、直接現場までお越しください。

参加費 800円程度(軽食・飲み物代)

貸切バス利用者の方、自家用車利用の方いづれも事務局へお申込下さい。

体験学習

琉球漆器(沈金)の
コースターを作ろう

内 容 本物のうるし塗りの生地を使用し、「沈金」
の技法でオリジナルコースターを作ります。

期 日 8月7日(土) <一般>9:30～12:00、<友の会会員>13:30～16:00

参加費 <一般>800円、<友の会会員>500円(材料費、保険料込み)

講 師 赤嶺貴子(漆作家)・當眞茂(漆作家)



編集後記

水に恵まれた首里では、泡盛をはじめ紅型や紙漉きなどの文化が育まれてきました。掲
載した「水の文化財 MAP」を片手に「水の都・首里」の町歩きを楽しんでみてくださいね。
夏休みの宿題にもピッタリです。

※編集会議では、首里地域の皆さまのホットな情報提供をお待ちしております

バックナンバーのお知らせ

■首里かわらばんのバックナンバーがホームページでご覧になれます。

首里地域情報ポータルサイト「e 首里ドットコム」
URL <http://www.e-sui.com/>



■お問合せ
事務局
TEL 886-8614

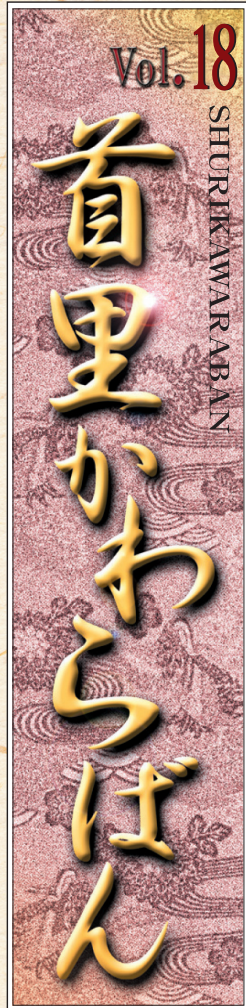
■1号 石畳のまち首里金城町 ■2号 城下町のメインストリート龍潭通り ■3号 首里の旗
■4号 首里の伝統菓子 ■5号 首里三箇のまちづくり ■6号 備後駅周辺エリア
■7号 琉球の宮廷音楽 ■8号 奥和志今昔 ■9号 寒水川・「水」への感謝でつながる絆
■10号 フクキとともに受継がれる紅型(山川町) ■11号 旗頭に魅せられた男たち(桃原町)
■12号 大中(ウフチュン)の歴史を見守り続けて(大南町) ■13号 首里城は世界で最も大きな漆器
■14号 結束力に支えられて広がる当蔵のまちづくり ■15号 歴史と地域を守り継ぐ舞・汀良町獅子舞
■16号 「先を読む力」で和を結ぶ・鳥居のまちづくり
■17号 子どもたちが誇りを持てる故郷づくりを(首里石蔵町北教会)

特集

伝統を受け継ぐ

熱き杜氏たちの想い

首里には、かつての王都として落ち着きあるたたずまいと歴史文化があると共に、
たくさん魅力ある首里人(すいんちゅ)がいます。
この首里かわらばんでは、地域で活躍している人たちを紹介していきます。



喜栄城博さん
(職名酒造)

村吉沙重子さん
(瑞泉酒造)

新里亮さん
(瑞泉酒造)

佐久本啓さん
(咲元酒造)

琉球王朝時代、王府が認めた泡盛造
りには首里三箇(赤田・崎山・鳥堀)に
限定されていました。悠久の時を超え、
今もこの地で泡盛を造り続ける各酒造
所の杜氏たちに、その想いをうかがっ
てきました。

記者 首里で泡盛を造ることについて
咲元・佐久本さん 泡盛発祥の地でやっ
ているという誇りは常にあります。そし
て、亡くなったじいさん(二代目)がよ
く言っていた「いそいで造るな」という製
造法と、古きよき時代の泡盛への思いは
今も変わらず受け継がれています。新し
い酒を造るのも難しいことですが、味を
変えない酒造りもすごく難しい。大量生



作業中の佐久本さん

産はしない手作りの
酒がうちの持ち味で
す。蒸留器にかけて
最初に出た酒の匂い
をかいた時、いい古
酒になると本当に
嬉しくなります。

識名・真栄城さん 僕もこれまで受け継
がれてきた歴史や伝統に誇りを持って仕
事をしています。うちのメインブランド
「時雨」のラベルには小さく『浜までは
海女も養える時雨かな』と詩が書かれて
います。僕はこれが好きでね。海女さえ
養をかぶるほどの強い雨をイメージした
力強い酒です。「酒くさいよー」って言
われてもこれが僕たちの持ち味であり、
こだわりなんです。少なくともそれを分
かってもらえるお客さんに出会えたとき
はやりがいを感じますね。



作業中の真栄城さん

記者 女性の杜氏は珍しいですが、大変
じゃないですか
瑞泉・村吉さん 高校時代から杜氏にな
ることしか興味がありませんでした。体
力的にキツイ面もあ
りますが、尊敬し
ている女性の先輩は
私より細いのに平気
で重い物を持つん
です。負けず嫌いだ
から私(笑)。



作業中の村吉さん

記者 今後の目標は?

瑞泉・新里さん 相手は生き物です
からね。いつも五感を働かせると言われて
ますが五年経ってもまだまだです。い
ずれは工場長のような頼れる杜氏が目標
です。

瑞泉・村吉さん 平和な世の中を願って
百年古酒を造るのが夢です。「悪酒は良
酒にならない」。いつも社長に言われて
いる言葉ですが、次世代に残せる美味し
いお酒を造り続けていきたいです。



▲作業中の新里さん

首里かわらばん 第18号

2010年7月発行

編集

首里かわらばん編集会議

発行/事務局

NPO 法人 首里まちづくり研究会
903-0812 那覇市首里当蔵町2-13
TEL098-886-8614
<http://happy.ap.teacup.com/suimachi/>

協力

78 タイフーン FM(周波数 78.0MHz)
903-0824 那覇市首里池端町34 2F
TEL050-3539-1178 FAX098-882-2400
<http://www.fmnaha.jp/>

タイトルデザイン 石原左内